

北浦製氷工場 竣工式

漁連は、8月20日（土）、北浦漁業協同組合会議室（延岡市北浦町）において、北浦製氷工場新築工事の完了に伴う竣工式を、出席者30名のもと執り行った。

開式に先立ち、本会宇戸田会長が、「当工場の新設により県全体の氷の安定供給が実現可能となる」との施主挨拶を行い、その後、地元選出の江藤拓衆議院議員、延岡市の読谷山市長、県農政水産部漁業管理課赤嶺課長より来賓祝辞を賜った。

北浦製氷工場の新築工事については、2020年7月に国の水産業競争力強化緊急施設整備事業（総事業費6億1,347万円）により工事に着手、途中、新型コロナウイルスの影響により工事が停滞した時期もあったが、着工から2年2カ月の歳月をかけこの程完成の運びとなった。

式典では、事業経過報告のあと、宇戸田会長より、設計業者及び施工業者に対し感謝状の贈呈が行われ、盛会裏に幕を閉じた。

北浦製氷工場は、県内最大の水揚量を誇る延岡市北浦漁港に位置し、主に地元北浦漁協所属の旋網船、底曳網船、定置網船、養殖業者等に対してこれまで氷の安定供給を行ってきたが、既設の北浦製氷第一工場・第二工場の老朽化によりしばしば安定供給に支障を来していたことから、新工場の設置により今後の安定供給が期待されている。



完成後の北浦製氷工場

《新工場の概要》

規模：日産 60 トン（20 トン製氷機×3 台）／貯氷能力 200 トン

構造：1 階（キャタピラ式貯氷庫）、2 階（製氷機・冷凍圧縮機・受電設備）、屋上（冷却塔）

機能：カード式自動販売



関係者による神事



宇戸田会長による施主挨拶